

JAPAN・MTB・CUP 2022の開催 ～東京2020大会の感動を再び～



令和4年11月28日
スポーツ・文化観光部

1

東京2020大会のレガシー創出



JAPAN
MOUNTAIN
BIKE CUP
Shizuoka, Japan

トラック競技(オリ 8/2～8)(パラ 8/25～28)

マウンテンバイク(7/26～27)



レガシー継承

- 本県が会場となった自転車競技の開催効果を継続させるため、大会開催前から検討してきた**レガシーの具現化に向けた取組**を推進
- 名実ともに「サイクルスポーツの聖地」となるよう日本サイクルスポーツセンターへのトレーニング機能の集約・強化や**オリンピックコースを活用した国際大会等の誘致・開催**を目指す

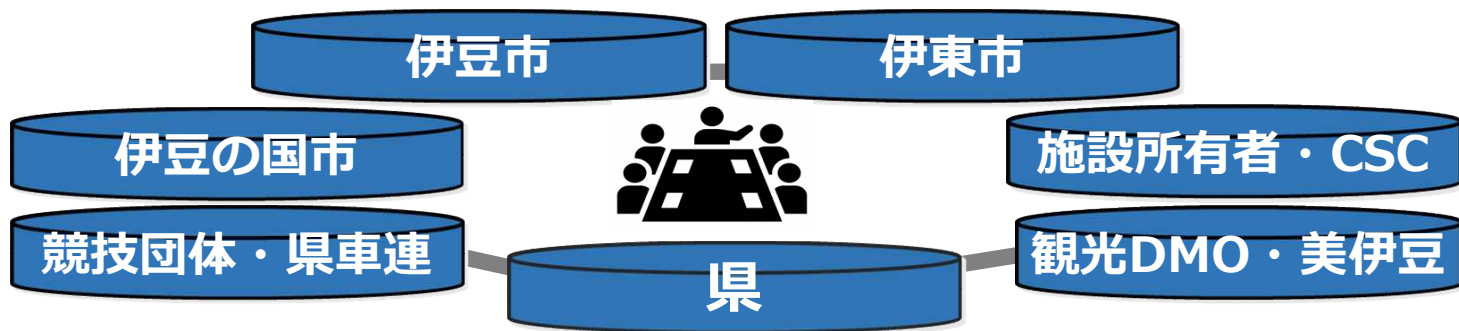
→**県・関係自治体でレガシーを活用したMTB国際大会を創設** 2



- **概要**
東京2020オリンピック、伊豆MTBコースを本格的に使用した国際大会を創設。大会開催による東部・伊豆地域の活性化を図る。
- **日程**
2022年10月29日～30日（2日間）
- **場所**
伊豆マウンテンバイクコース
日本サイクルスポーツセンター内
- **主催**
ジャパン・マウンテンバイク・カップ大会実行委員会
- **大会クラス**
UCI(国際自転車競技連合) Class1 3

大会を支える推進体制

実行委員会(県、自治体、競技団体、DMO、所有者)



協賛企業
(41社)

賛同・協賛

FDA
FUJI DREAM AIRLINES

OKITSURASEN COSMO SUN TO MOON
ソフトレーン静岡

この道の光に NIPPO 沼津信用金庫

BMC 三島信用金庫 MERIDA 株式会社八木組

伊豆の国市商工会 株式会社古藤田商店 シマノセールス 沼津市商工会

沼津商工会議所 一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー 三島商工会議所 株式会社ミロク

MI Factory

アース製薬 一般社団法人 伊豆市産業振興協議会 Kabuto

Sanmaru IZU CITY 静岡銀行 SPECIALIZED

スルガ銀行 東海電力パワーグリッド 東京油化株式会社 TOKYO-YUKA CO., Ltd.

旭化成ファーマ株式会社 伊豆急ホールディングス ウィンクレル株式会社

株式会社カーメイト 東海自動車 株式会社 NESTO FACTORY RACING

富士伊豆農業協同組合 有限会社山竹種苗園

競技参加者

- 国内外から**約80名**のトップライダーが本大会にエントリー
(海外招聘選手4名、海外一般選手16名、国内選手59名)
- コロナ禍であっても**、下記2選手のほか、豪州、フィリピン、シンガポール、香港等から**数多くの選手が来日**

○男子エリート

ジュリ・ザノッティ
(イタリア・23歳)

世界ランキング35位
世界選手権14位

大会記録：**1:27:09**
走行距離：**28.7***km

大会
結果

1位



○女子エリート

アンネ・テルプストラ
(オランダ・31歳)

世界ランキング2位
世界選手権6位

大会記録：**1:15:04**
走行距離：**20.5***km

大会
結果

1位



5

大会の成果・実績 I (賑わい/ボランティア)

大会の賑わいづくり

- ・入場者数累計**2,500名**(29日~30日)
- ・自治体、関係団体から**延べ52店舗出店**
(みかん、わさび等の伊豆の食材提供)



スポーツボランティアの活用

- ・RWCやオリパラで活動したボランティアを組織化し、大会運営を補助
- ・**延べ123人のボランティアが活動**

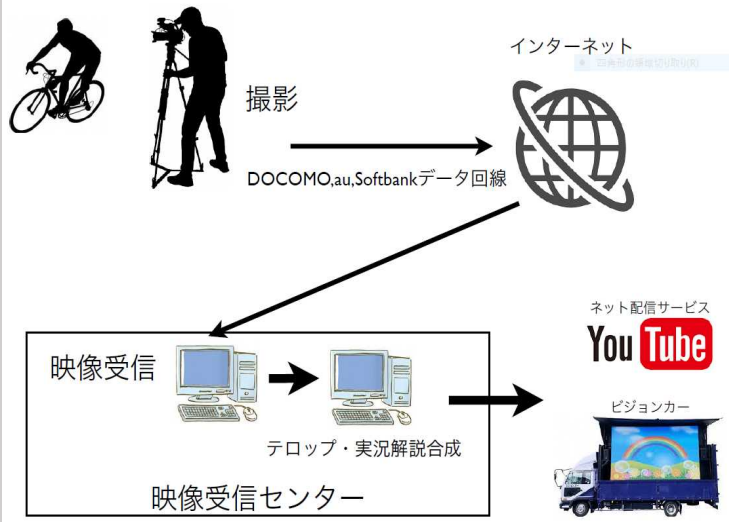


6

webによるライブ中継

- ・コースに8台カメラを設置し、レースの臨場感をビジョンカー、ネット配信
- ・**スポーツを「みる」で感動を体感**

マウンテンバイク中継システム概要



一流アスリートとの交流

- ・海外**一流アスリートと地元ジュニアアスリートと交流**する機会を提供
- ・**10/30、オランダ大使が応援に来場**



7

東京大会のレガシー継承に向けた取組

日本サイクルスポーツセンターをエリート選手から自転車初心者までが利用することができる**“自転車トレーニングヴィレッジ”**としての活用を検討

競技力向上の場

- ・ナショナルトレーニングセンターなど



競技大会の開催地

- ・国際/国内競技大会の開催など



世代、障害の有無を問わずサイクルスポーツを親しみ、学び、体験できる場

- ・住民の体験会、講習会開催など



伊豆東部のサイクルツーリズムの拠点

- ・トレイルツアー参加者の講習など



8

自転車トレーニングヴィレッジ実現に向けて ～運営法人の設置～

要旨

CSCを拠点に、自転車トレーニングヴィレッジ化の推進組織として、
本年9月「(一社)ふじのくにサイクルスポーツコミッション」を設立

目的

CSCを核に、スポーツによる交流人口の拡大、地域の魅力創造、地域住民の Quality of Lifeの向上を目指す

取組

大会・イベント等の誘致・開催



11/18～20 全日本自転車競技選手権(MTB)の誘致・開催

自転車を活用した住民向け健康づくりプログラム



自転車を使った健康づくりプログラム(約3ヶ月の継続メニュー)

ジュニアアスリートの発掘・育成



小学3年～中学2年を対象に約10名 MTBタレント候補を発掘・育成

アフターコロナにおける今後の本県での国際スポーツ大会の開催

- 10/11(火)から**新型コロナ水際対策が大幅に緩和**、海外選手の往来が活発に。
- 今後、本県開催の国際スポーツ大会が多数予定



2025デフリンピック

自転車競技(ロード・MTB) : CSC(伊豆市)



2026アジア競技大会

自転車競技(トラック) : CSC(伊豆市)
サッカー : ECOPA(袋井市)
アティスティブミック : TOBIO(浜松市)



国際スポーツ大会開催を活用して、
本県の魅力向上や交流の拡大に取り組む